

【1】新市場販路開拓事業

1 収支決算額

- 収入決算額：69,399,644円
(事業収入：17,110,000円、市負担金収入：42,289,644円)
- 支出決算額：67,569,643円

2 事業の成果

◆ **受注促進・販路開拓支援事業**: 感染症の規制緩和以降、関東圏と関西圏への企業訪問再開と技術系展示会の共同出展を行ったほか、昨年度に構築した Web 受発注システムを利用した企業照会などにより 517 件の引合いがあり 53 件が成約に至った。なかでもコロナ禍で増加した生活関連商品の引合いは感染症の流行後も継続し、地域企業の技術力、商品力により成約件数が増加した。

燕三条ものづくりメッセは、出展者、来場者ともに地域制限を設けず、ハイブリッド型として開催した結果、前年度より来場者数は約 1.4 倍、商談件数は約 2 倍に増加し、活気ある展示商談会となった。来場者、出展者アンケートではどちらも約 7 割が「目的を達成できた」という回答であった。

3 実施事業

(1) 受注促進・販路開拓支援事業 (担当：企業支援課)

(収入決算額：18,647,742円、支出決算額：18,647,742円)

① 地域外企業訪問による受注促進

新型コロナウイルス感染症の規制緩和後から関東・関西圏を中心に自動車部品、電機部品、産業機械等のメーカーや商品企画会社、材料商社など様々な業界の企業への訪問を再開し、燕三条地域のものづくり技術力の PR を行い受注促進を図った。

年度	受注斡旋(件)				引合件数 小計	各 種 相 談
	成約	見積 検討中	対応企業 紹介	不成約		
R4	53	25	426	13	517	75
R3	64	37	403	12	516	81
R2	50	49	353	14	466	51
R元	55	59	388	27	529	93

・ 引き合いの主な分野

	分野	件数	割合
1	機械加工	83件	16.0%
2	生活関連商品	65件	12.6%
3	表面処理	63件	12.2%

・ 成約の主な分野

	分野	件数	割合
1	表面処理	10件	18.9%
2	生活関連商品	7件	13.2%
3	機械加工	6件	11.3%
	その他	6件	11.3%

- Web 受発注システムへの企業照会
 - 1) 部品加工分野 32 件、2) 民生品分野：18 件
- 受発注打合せ件数

(単位：件)

年度	地域内(市内) 企業訪問	地域外(県内) 企業訪問	県外企業 出張訪問	県内企業 来室打合せ	県外企業 来室打合せ
R 4	69	14	63	8	29
R 3	63	2	0	20	23
R 2	40	4	0	17	23
R 元	550	102	121	96	109

② 燕三条地域企業との技術系・専門分野展示会への共同出展等による受注促進

- 1) 来場者数は感染症流行前に戻りつつあるものの、東京展では情報収集が主体で引合件数は低調な結果となった。一方、関西展は引合件数が少ないものの成約率が高い結果となった。

展示会名称 (会場)	開催期間	来場者数	共同出展 企業数	引合 件数	成約 件数
機械要素技術展 (東京ビッグサイト)	6/22～24	49,262 人	18 社	148 件	7 件
	R 3	19,875 人	6 社	12 件	0 件
	R 元	10,664 人	19 社 (うちアテント 5 社)	19 件	0 件
関西機械要素技術展 (インテックス大阪)	10/5～7	27,162 人	6 社	31 件	8 件
	R 3	16,906 人	5 社	29 件	1 件
	R 元	40,071 人	5 社	53 件	5 件

※引合い件数：試作依頼、見積検討、図面照会、後日訪問相談数の合計。

※R 2 年度は東京、関西ともに出展を見送り。

- 2) 3D オンライン共同出展ブースを制作して両展示会出展の 1 ヶ月前から展示品を公開し、リアル会場への来場促進に努めたほか、関西展では同時期にMOB I O(ものづくりビジネスセンター大阪)の常設展示場に共同出展企業の加工サンプルを展示した企画展の開催。リアル展会期前日にはMOB I O 会員企業に向けたプレゼンテーションと交流会を行ってリアル会場への来場促進につなげた。
 - ・ 機械要素技術展 アクセス数：653 回(6/3～3 ヶ月間公開)
 - ・ 関西機械要素技術展 アクセス数：487 回(9/13～3 ヶ月間公開)
 - ・ MOB I O 企画展 来場者数：1,312 名(9/12～10/7)

③ オンライン常設展示場開設による受注促進(新規)

仮設の展示スペースに陳列した加工部品や製品を高性能 3D カメラで 360 度撮影し、Web 上で展示品をいつでもどこからでも疑似体験できる「燕三条ものづくり VR 展示館」を開設して地域企業の加工技術等の PR を継続的に実施している。

(出展企業：22 社、R 5. 3 月公開から 1 ヶ月間のアクセス数 延べ 912 回)

④ ものづくり産地との交流連携促進(新規)

オンライン会議アプリを用いて各参加企業が得意技術などの紹介や共通テーマでの意見交換を実施した結果、企業間での引合いに発展したケースもみられた。中

小企業支援機関とは各地の得意な加工技術を共有し、対応できない引合いを得意とする地域につなぐこととなった。

相手先	開催日	参加企業
異業種交流 Joint-92(東京都大田区)	7/28	相手先 4 社・燕三条 5 社
テクノプラザおかや(長野県岡谷市)	9/27	相手先 3 社・燕三条 4 社
川崎北工業会(神奈川県川崎市)	12/19	相手先 5 社・燕三条 4 社
企業グループ(大阪府)	2/28	相手先 5 社・燕三条 4 社
中小企業支援機関	3/16	岡谷市、釜石・大槌、津山市 東大阪市

⑤ ものづくり企業ナビの情報拡充

登録企業の情報更新と併せて企業の「強み」を経営者や担当者と共に考え、その強みをものづくり企業ナビに反映した。

⑥ 地域内外企業への情報提供

- 1) 登録企業約 650 社を対象として、技術系展示会の出展募集やものづくり産地との情報交換会などの募集案内を FAX とメールで配信した。(リサーチア通信: 7 回)
- 2) 地域企業の受注を促進するため、これまで当センターに問い合わせ頂いた県外企業の発注担当者等約 1,600 人へ地域企業の加工技術や新製品を紹介する情報をメールで配信し、燕三条地域への受注促進を図った。(新潟発! 燕三条ものづくり情報: 6 回)
- 3) 地域の特徴的な加工技術の動画撮影を行い、Web 受発注システムに掲載の電子版加工技術パンフレットと連動して視聴を可能とした。

(2) 燕三条ものづくりメッセ開催事業 (担当: 企業支援課)

(収入決算額: 50,751,902 円、支出決算額: 48,921,901 円)

令和元年度の開催から 3 年ぶりに特設テントを設営して出展規模を拡大しつつ、感染症対策として前年度同様に通路幅を広く取り、混雑することなく出展者と来場者が安心して商談ができる会場レイアウトで開催した。

製造協力企業を探す地域外来場者や最新の設備などの情報収集に訪れる地元来場者などで会場は賑わい、来場者、商談件数ともに前年度より増加した。

- ① 名称: 燕三条ものづくりメッセ 2022
- ② 会期: 令和 4 年 10 月 20 日(木)~21 日(金)
- ③ 会場: 燕三条地場産センターメッセピア多目的大ホール 他
- ④ 出展規模

・ 地域別 単位: 社・団体

	R 4	R 3	R 2	R 元
燕三条地域	92	77	104	120
その他地域	88	38	68	142
合計	180	115	172	262

- 分野別 単位：社・団体

単位：社・団体	R 4	R 3	R 2	R 元
加工技術	93	60	103	125
機械装置	29	10	21	54
民生品	13	16	21	35
ソリューション	33	16	22	30
教育・研究機関	8	6	2	11
産業支援機関	4	7	3	7

- ⑤ 来場者数： 単位：人

R 4	R 3	R 2	R 元
3, 831	2, 753	1, 763	12, 148

- ⑥ 展示会概要

- 展示会での商談、ビジネスマッチング 単位：件

	R 4	R 3	R 2	R 元
商談件数	1, 895	979	456	2, 951
成約件数	31	17	11	68

- オンライン商談サービス

オンラインミーティングツールを用いて会場に来場せずとも出展者との商談を可能とした。利用件数：8件(事前予約7件、当日1件)

- 会場内リアルタイム&アーカイブ配信

会期前日及び初日に会場を巡回し、出展者(45社)へのインタビューを含め会場内の様子をホームページでリアルタイムとアーカイブで配信を行った。

- 特別講演会

テーマ：「事業承継までの道のりと継いでからの挑戦事例」
～顧客業種の拡大とベンチャー企業との協業～

講師：(株)ミヨシ 代表取締役 杉山 耕治 氏

日時：令和4年10月20日(木) 15:00～16:30

聴講者：会場 37人、オンライン 27人

- 技術講演会

企業開発力強化事業「接合技術研究会」第2回として実施。

テーマ：溶接の見える化

日時：令和4年10月21日(金) 13:00～16:00

演題：○ 溶接モニターカメラを用いたアーク溶接可視化解析事例について

(株)ノビテック 森 一記 氏

○ 最新レーザ技術と加工に使用されるモニタリング技術

トルンプ(株) 中村 強 氏

○ 溶接訓練のDX化

(株)IHI 野々村 将一 氏

聴講者：会場 37人、オンライン 41人

【2】企業開発力強化事業

1 収支決算額

○ 収入決算額：7,468,691円

(事業収入:2,462,710円、市負担金収入:4,405,981円、助成金収入:600,000円)

○ 支出決算額：7,468,691円

2 事業の成果

- ◆ **産学連携共同研究開発事業**：生産技術の高度化や生産性向上を目標としてものづくりフォーラムと4つの専門研究会を開催した。研究会では最新の技術情報提供とともに会員企業からの希望に応じた実験、実演など行うことで、各研究会で得られた知見を参加企業と共有した。
- ◆ **技術開発総合支援事業**：地域企業からの熱処理方法、表面処理、不具合対策、使い心地の数値化、知的財産などの相談に対して、当センター機械設備の活用や技術情報の提供、解決策を提案することなどによって課題解決に繋がった。

3 実施事業

(1) 産学連携共同研究開発事業（担当：技術開発課）

(収入決算額：3,928,232円、支出決算額：3,928,232円)

① ものづくりフォーラム

地域企業の技術力向上に寄与するため、製品安全対策セミナーや現場改善、生産工程のデジタル化に関するセミナー開催した。

1) 製品安全対策セミナー

・ 日 時：令和4年5月18日(水)

・ 内 容

(ア) 製品安全対策優良企業表彰制度 (PS アワード) について

経済産業省 商務情報政策局 製品安全課 課長補佐 石曾根 智昭 様

(イ) 第14回 (令和2年度) 優良賞受賞内容の紹介

株式会社コロナ 執行役員 品質保証部 部長 宮島 光彦 様

(ウ) 燕三条地域受賞者と「ニイガタ製品安全コミュニティ」の紹介

ニイガタ製品安全コミュニティ会長

有限会社栄工業 代表取締役 山村 則子 様

(エ) システム安全の概念に基づく未然防止システム設計

長岡技術科学大学 システム安全工学専攻 准教授 大塚 雄市 氏

(オ) 講評

PS アワード審査委員長 開志専門職大学副学長 三上 喜貴 氏

・ 参加者数：41人

2) トヨタ生産方式と現場改善

・ 日 時：令和4年7月22日(金)

・ 講 師：(株)カイゼン・マイスター チーフアドバイザー 田中 一春 氏

・ 参加者数：32人

3) 完全自動 加工プログラム生成AIソフトウェア「アルムコード1」の技術紹介と加工デモ

・ 日 時：令和4年8月9日(火)

- ・ 講師：アルム(株) 代表取締役 平山 京幸 氏
 - ・ 参加者数：20 人
- 4) 金属加工と DX-塑性加工屋とデジタル変革-
- ・ 日 時：令和 4 年 12 月 5 日(月)
 - ・ 講師：チトセ工業(株) 会長 中西 啓文 氏
 - ・ 参加者数：10 人

② 生産技術研究会

1) 接合技術研究会

金属材料の溶接、ろう付け、接着をテーマに最新の接合技術に関する情報を提供した。燕三条ものづくりメッセにおいては、溶接技術講演会を(一社)溶接学会 東部支部、(公社)日本材料学会 北陸信越支部と共催(参加者 78 人)し、溶接の見える化をテーマとした技術情報を提供した。また、ステンレス鋼の UV オゾン洗浄や電解エッチングが接着強さに及ぼす影響を調べて得られた知見を会員と共有した。

- ・ 期間(回数)：令和 4 年 8 月～令和 5 年 3 月(4 回実施)
- ・ 指導者：長岡技術科学大学 工学部 機械創造工学専攻 教授 宮下 幸雄 氏
- ・ 参加者：10 人(8 社)

2) 表面技術研究会

ファインバブルを用いた洗浄工程の効率化をメインテーマとして、ファインバブルを活用した洗浄技術に関する情報提供とファインバブルを用いた洗浄実験を行った。ファインバブルを用いた洗浄実験では、テストピースや地域企業が持ち込んだサンプルの公開洗浄実験を行い、さらに自社工程への応用を検討する研究会会員企業とは各企業のテーマに応じて個別に洗浄実験を行った。また、ファインバブルを用いた隙間洗浄実験も行い、実験結果は会員企業と共有した。

- ・ 期間(回数)：令和 4 年 7 月～令和 5 年 3 月(4 回実施)
- ・ 指導者：新潟大学 自然科学系 工学部 准教授 牛田 晃臣 氏
- ・ 参加者：15 人(10 社)

3) 生産性向上研究会

地域企業の生産性向上に寄与するため、製造部門のデジタル化をテーマとして、製造部門での IoT を利用した機械設備稼働状況の見える化などの情報提供、産業用ロボット活用企業の工場見学など行った。また、会員企業とともに教育用ロボットラインでのロボットが動作するタイミングの調整など行った。

- ・ 期間(回数)：令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月(5 回実施)
- ・ 指導者：長岡技術科学大学 電気電子情報工学専攻 准教授 渡部 康平 氏
- ・ 参加者：10 人(8 社)

4) カutting技術研究会

切削加工の高能率化をテーマとして高能率化や高品質化に関する技術情報提供やウルトラファインバブル含有クーラントを用いた切削試験に取り組んだ。技術情報としては 3D データを駆使した部品試作、機能的表面の製造技術、切削シミュレーションなどの情報提供を行い、切削試験ではウルトラファインバブル含有クーラントを用いた時のステンレス鋼の切削工具の摩耗特性を調べて研究会会員企業と共有した。

- ・ 期間(回数)：令和4年7月～令和5年3月(6回実施)
- ・ 指導者：長岡技術科学大学 工学部 機械創造工学専攻 教授 磯部 浩巳 氏
- ・ 参加者：10人(9社)

(2) 技術開発総合支援事業 (担当：技術開発課)

(収入決算額 3,540,459：円、支出決算額：3,540,459 円)

① 機械設備・分析測定機器の利用促進

機械設備、分析測定機器を地元企業へ紹介するデモツアーを適宜開催して利用促進に努めた。

【機械設備利用状況】

名 称	R 4	R 3	R 2	R 元
3D測定レーザー顕微鏡	14	14	38	13
多関節型3次元デジタイザー	20	30	29	35
蛍光X線分析装置	31	36	45	36
走査型電子顕微鏡	1	3	2	6
レーザーマーカ	17	16	22	15
デジタルマイクロスコープ	2	10	14	5
3次元デジタイジング装置	22	10	25	16
3次元デザインCADシステム	40	35	57	49
万能塑性加工試験機	3	1	10	3
雰囲気熱処理装置	-	14	26	22
3Dプリンター	37	30	26	25
顕微フーリエ変換赤外分光光度計	9	14	11	3
汎用旋盤、包丁の切れ味試験機、精密天秤など	8	32	11	5
合 計(件数)	204	245	316	233

② 職員による技術相談

燕三条地域企業などからの各種測定方法や加工方法、不具合対策、腐食対策、表面処理などの相談に対して、センター技術職員が機械設備等を活用しながら解決策や改善策を提案。また、脳波測定によるステンレス製洋食器の使い心地評価を支援した。

- ・ 相談件数：62件(38社)

③ 技術専門家派遣

製造現場の5Sや見える化、生産管理、自社製品の構造など地域企業が抱える課題に対して専門家を派遣して課題解決に向けた助言を行っていただいた。

- ・ 相談件数：5件(5社)

④ 知的財産権相談

特許や実用新案、意匠などの知的所有権を地域企業が戦略的に活用するため、当地域の産業に精通した弁理士による月1回の個別相談会を実施した。商標、意匠、

実用新案の申請に関する相談が多く、権利化に向けて継続的なフォローを行う。

- ・ 指導者：ジーベック国際特許事務所 所 長 清水 善廣 氏、
弁理士 小松 悠有子 氏
- ・ 相談件数：38 件(15 社)
- ・ 出願に繋がったもの：7 件(R3 年度：5 件)

【3】燕三条ブランド推進事業

1 収支決算額

- 収入決算額：42,130,451円
(事業収入：404,600円、市負担金収入：37,477,664円
その他負担金収入：4,224,187円、雑収入：24,000円)
- 支出決算額：42,130,451円

2 事業の成果

◆ **燕三条ブランド推進事業**: 地域ブランド向上のため、ブランド力の高い次世代企業の育成を目的に実践型セミナーを開催した。また、首都圏でのデザイン賞受賞製品の展示や、デザインギャラリーの活用により、地域企業の取り組みを支援した。

産業観光の推進では、3年ぶりに KOUBA を開放する形式で「燕三条 工場の祭典」を開催したほか、職人とのものづくりをテーマとした展示を県内外で実施した。

また、観光情報サイト「燕三条 夢創紀行」において、オープンファクトリーをPRする動画の掲載やアクティビティページを新設するなど、地域への興味と来訪、購買を促すための情報発信を強化した。

3 実施事業

(1) 燕三条ブランド推進事業

(収入決算額：42,130,451円、支出決算額：42,130,451円)

① 燕三条ブランド強化・発信事業

1) ブランド力向上セミナーの開催(新規)

「中小企業のためのデザイン経営のはじめ方」

○ 第1回：セミナー「デザイン経営の今」

- ・ 開催日：令和5年1月23日(月)
- ・ 参加者：14人
- ・ 講師：(株)ロフトワーク ゆえんユニットリーダー 二本柳 友彦 氏
錦城護謨(株) 代表取締役社長 太田 泰造 氏

○ 第2回：ワークショップ「ブランディング、ユーザー像を整理する、イノベーション」

- ・ 開催日：令和5年2月16日(木)、23日(金)
- ・ 参加者：4社6人
- ・ 講師：(株)ロフトワーク ゆえんユニットリーダー 二本柳 友彦 氏
(株)ロフトワーク クリエイティブディレクター 加藤 修平 氏

2) 企業プレゼンテーションスペースの提供

リサーチコア デザインギャラリーでの展示を通じ、自社製品や技術力の魅力を的確に発信するための企画力育成及び、企業のブランド力の醸成を支援した。

- ・ 展示企業18社(令和3年度：13社)

3) “ものづくり文化”を発信する企画展示の開催

地域で生まれるモノ・コトにおける「歴史・背景」「現場・プロセス」を通じ、燕三条の魅力を発信する展示を、県内外を巡回して開催した。

「燕三条×ものづくり×人づくり 職人達の仕事」

会場	会期	来場者数
三条市立大学	令和4年4月4日(月)～4月15日(金)	(学生対象)

リサーチコア デザインギャラリー	令和4年4月28日(木)～5月31日(火)	1,102人
開志専門職大学 紫竹山キャンパス	令和4年9月15日(木)～10月3日(月)	(学生対象)
長岡造形大学	令和4年10月12日(水)～10月19日(水)	(学生対象)
GOOD DESIGN Marunouchi (東京)	令和5年1月7日(土)～1月16日(月)	1,556人

4) グッドデザイン賞活用支援

2021年受賞製品の常設展示に併せ、これまでの受賞製品を紹介する企画展示を開催した。また、2022年度受賞製品を中心に、「GOOD DESIGN STORE TOKYO」で購入することのできる商品と過去3年以内に受賞した中からセレクトした製品を展示して、地域のものづくりの発信と、購買の促進に努めた。

(ア) 「時代に合わせ、生活を豊かにする燕三条のデザイン」【企画展示】

会場：リサーチコア デザインギャラリー

会期：令和4年9月9日(金)～11月30日(水)

展示数：燕三条地域のグッドデザイン賞受賞約760点から90点を展示

来場者数：3,674人

(イ) Good Design Award 2022 燕三条【企画展示】

会場：GOOD DESIGN Marunouchi (東京都)

会期：令和4年12月16日(金)～12月26日(月)

展示数：81点

年度	R4	R3	R2	R元
来場者数	10,627	6,310人	1,948人	4,461人

(ウ) GOOD DESIGN AWARD 2021 燕三条地域受賞製品 21点【常設展示】

(エ) ジャパン・ツバメ・インダストリアルデザインコンクール2022 受賞製品【常設展示】

5) 地域デザイン団体の活動に対するサポート

- ・ 燕三条デザイン研究会(会員：49人、全体例会3回、役員会2回)
- ・ つばめデザイン研究会(会員：6人)

② 「燕三条 工場の祭典」

1) 「燕三条 工場の祭典」の開催

各種製品を製造する燕三条地域の工場が製造現場を一斉に開放し、訪れた工場でものづくりを見学・体験・購入できるイベントを開催した。

- ・ 開催日：令和4年10月7日(金)～9日(日) 3日間

(令和元年度：10月4日(木)～7日(日) 4日間)

- ・ 参加企業：82社・団体(令和元年度：113社・団体)
- ・ 来場者数：33,514人(令和元年度：56,272人)

2) ライブ配信による燕三条の情報発信

燕三条地域のKOUBAを紹介するライブ配信を月1回、定期的に配信した。また、動画をアーカイブ化して燕三条のKOUBA情報のポータルサイトとして発信した。

- ・ 配信数：12本(令和3年度：16本)
- ・ 総視聴数：12,340回(令和3年度：146,534回)
- ・ チャンネル登録者数：3,350人(令和3年度：2,340人)

③ 燕三条産業観光支援事業

観光情報サイト「燕三条 夢創紀行」等を運用し、燕三条地域の魅力を発信した。

1) オープンファクトリー情報の発信(新規)

- ・「工場見学」ページの企業情報掲載：25社(令和3年度：20社)
- ・地域とオープンファクトリーを紹介する動画を制作して掲載した。

メイン動画：1本(2分14秒)

短編動画：5本(平均約42秒)

2) アウトドア、グリーンツーリズム等、アクティビティに関する情報発信

自然体験などのイベント情報を集約し「燕三条まちあるき」のウェブサイトを活用して発信した。また、近年注目されているアウトドア関連の情報発信を強化するため「燕三条 夢創紀行」サイト内に「アクティビティ」ページを新設した。

年度	実施団体	掲載イベント数(件)
R 4	9団体	31
R 3	8団体	28
R 2	17団体	5
R 元	15団体	42

3) 地域団体の情報集約とポータルサイトでの発信

地域の観光関連団体と連携し、各種情報の相互発信の取り組みを強化した。

- ・新着情報掲載：100件(令和3年度：70件)

4) 「燕三条まちあるき」の運営支援

春季・秋季コースの募集や広報宣伝などにより、実施団体に対する支援を行った。また、参加者の利便性向上と実施団体による運営への移行を図るため、ウェブサイトリニューアルし、通年での開催に向けた体制を整備した。

《2022春》・開催期間：令和4年4月9日(土)～5月29日(日)

- ・コース数：15コース(中止1コース)

- ・参加人数：100人

《2022秋》・開催期間：令和4年10月2日(日)～11月19日(土)

- ・コース数：14コース(中止7コース)

- ・参加人数：33人

年度	実施コース数	参加延人数	備考
R 4	29	133人	中止8コース
R 3	32	186人	中止7コース
R 2	11	132人	中止15コース
R 元	30	264人	—

5) 燕三条「畑の朝カフェ」の運営支援

燕三条農業(農産物)のブランド化のため朝の農園で体験や朝食を楽しむイベント開催を支援した。また、実行委員会による独自運営について協議を進めた。

開催日	開催会場	参加人数	備考
5月22日(日) 5月28日(土) 5月29日(日)	ハーヴェスト：燕市	22人	蜂蜜収穫体験と蜂蜜試食 ハーブと野菜の収穫体験

7月31日(日)	小杉農園：燕市	18人	農園散策、梨の収穫体験
9月19日(日)	農園はちんどん：燕市	20人	ぶどうの収穫
9月25日(日)	渡辺果樹園：三条市	16人	農園散策、ぶどう食べ比べ

【開催実績】

年度	開催回数	参加人数	備 考
R 4	4回	76人	
R 3	2回	40人	園主都合による中止1回
R 2	4回	95人	
R 元	6回	123人	荒天による中止1回 感染症の影響による中止1回

④ 燕三条 Wing の活用

デザイン賞受賞など高品質な製品や燕三条企業の取り組みを展示で発信した。

1) 燕三条の高品質な製品の PR 及び産業や技術を「見える化」した体験型展示 (ア) 「燕三条 鍛冶業(わざ) ～鋼に打込(こめ)る、職人の魂～」

- ・ 会 期：令和4年9月17日(土)～11月3日(木・祝)
- ・ 展示内容：伝統的工芸品「越後三条打刃物」製品と製造工程、鍛冶体験
- ・ 来場者数：6,220人

(イ) 「燕三条 夢創紀行-工場見学-<https://www.tsubamesanjo.jp/kanko/factory>」

- ・ 会 期：令和4年11月12日(土)～12月25日(日)
- ・ 展示内容：ウェブサイト「燕三条 夢創紀行」内「工場見学」ページの紹介と見学可能な企業の燕三条 Wing 販売品
- ・ 来場者数：5,385人

(ウ) 「より良い“今”をつくる～燕三条企業の SDGs 改革～」

- ・ 会 期：令和4年12月27日(火)～令和5年2月28日(火)
- ・ 展示内容：燕三条企業の「SDGs の取り組み」の紹介と製品や加工品
- ・ 来場者数：8,479人

(エ) 「新生活を彩る道具たち～自炊を快適に、そして楽しく～」

- ・ 会 期：令和5年3月2日(木)～5月7日(日)※予定
- ・ 展示内容：「新生活の自炊を快適に」をテーマにした燕三条 Wing 販売品
- ・ 来場者数：4,025人

2) 燕三条ブランドの認知度向上のための企業や地域の取り組みを発信する展示 「GOOD DESIGN AWARD—時代に合わせ、生活を豊かにする燕三条のデザイナー—」

- ・ 会 期：令和4年6月7日(火)～8月29日(月)
- ・ 展 示 数：103点
- ・ 来場者数：12,208人

展示期間	内 容	展示数
6月7日(火) ～7月3日(日)	第1期：1966－2001 価値変化の時代—意匠登録と生活の質の向上	38点
7月5日(火) ～7月31日(日)	第2期：2002－2011 価値多様化の時代—グローバル化と機能の向上	33点
8月2日(火) ～8月29日(月)	第3期：2012－2021 共有・協働の時代—持続可能な社会に向かって	32点

【4】 企業人材育成事業

1 収支決算額

- 収入決算額：11,913,462円
(事業収入：6,072,449円、市負担金収入：5,841,013円)
- 支出決算額：10,087,425円

2 事業の成果

- ◆ **技術力強化支援事業**：地域企業の新人～中堅の方々を主なターゲットとして技術研修を開催した。受講者が初めて学ぶことに対して講師からの丁寧な説明、研修内容に応じて実習や演習を行うことで研修受講者の84%の方から受講して良かったと感じていただける研修となった。
- ◆ **経営力強化支援事業**：地域企業の売り上げ向上に役立てていただけるよう、営業力やコスト意識の醸成、デジタル化などに関するセミナーを開催した。セミナー後のアンケートでは具体例を含めた解説や学んだことを元に業務を見返すと気付きが得られたなどの回答があり、受講者の86%の方々から受講して良かったと回答いただいた。また、メルマガや広報誌を用いてリサーチコア実施事業の広報活動を行った。

3 実施事業

(1) 技術力強化支援事業 (担当：技術開発課)

(収入決算額：3,899,500円、支出決算額：2,810,412円)

地域企業の人材育成を目的として新人、中堅などの各階層をターゲットとした技術研修を開催した。セミナーの内容は前年度受講者などの意見の反映、実習や事前勉強会を組み合わせることで開催した結果、受講者の満足度が高い研修となった。

- ・ 全12コース、56回、172.5時間、募集190人/実績189人
(R3：全13コース、52回、164.5時間、募集185人/実績177人)
- ・ 理解度60%以上の受講者：60% / 満足度「良かった」以上の受講者：84%
(R3：理解度60%以上の受講者：67% / 満足度「良かった」以上の受講者：74%)

① 新人基礎コース(1コース)

(単位：人)

講座名	期間(時間数)	R4	R3	R2	R元
図面の見方と金属材料・加工基礎講座	4/8～15(18時間)	28	30	14	22

② 技術基礎コース(6コース)

(単位：人)

講座名	期間(時間数)	R4	R3	R2	R元
金属材料基礎講座	5/13～7/15(23.5時間)	17	11	15	24
図面の見方・描き方入門講座(第1期)	8/23～9/13(18時間)	20	17	18	23
図面の見方・描き方入門講座(第2期)	11/1～11/18(18時間)	19	19	19	24
製造現場に必要な数学・物理化学の基礎講座	6/15～7/13(10時間)	9	9	14	20
3D-CAD入門講座	9/16～10/2(15時間)	6	14	17	15

感性設計基礎講座 【新規】	8/4～8/8(9時間)	13	-	-	-
合 計		84	70	83	106

③ 専門分野集中研修コース(4コース) (単位:人)

講座名	期間(時間数)	R 4	R 3	R 2	R 元
溶接技術集中講座	9/15～9/16(9時間)	14	14	15	18
プレス加工集中講座	10/27～11/24(15時間)	19	19	19	8
表面処理技術集中講座	5/10～5/24(9時間)	20	26	-	22
熱処理技術集中講座	11/4～11/18(9時間)	11	9	12	14
合 計		64	68	46	62

④ 生産現場に対応する技術マネジメントコース(1コース) (単位:人)

講座名	期間(時間数)	R 4	R 3	R 2	R 元
燕三条ものづくり現場 改善基礎講座	6/9～7/7(12時間)	13	17	17	28

(2) 経営力強化支援事業 (担当:技術開発課)

(収入決算額:8,013,962円、支出決算額:7,277,013円)

① 企業向け情報・経営研修会の開催

地域企業の事業運営やデジタル化を支援するセミナーを開催した。セミナーの受講者の86%の方々から受講して「良かった」と捉えていただくことができた。

・ 全8コース、29回、61時間、募集88人/実績82人

(R3:全8コース、26回、57時間、募集83人/実績92人)

・ 理解度60%以上の受講者:74%/満足度「良かった」以上の受講者:86%

(R3:理解度60%以上の受講者:84%/満足度「良かった」以上の受講者:86%)

〈情報系〉(5コース)

(単位:人)

講座名	期間(時間数)	R 4	R 3	R 2	R 元
エクセル活用講座 (仕事の効率を上げる Excel 活用講座)	5/16～5/25(10時間)	13	11	13	9
ネット販売のための商品撮影 集中講座	12/12～12/15(6時間)	8	-	-	-
イラストレーター講座 (初心者のための AdobeIllustrator 講座)	12/6～12/20(6時間)	5	5	8	6
WordPress 入門講座	1/23～1/30(8時間)	3	9	10	10
デジタルツール活用ワークシ ョップ	7/19～8/3(10時間)	11	-	-	-
合 計		40	25	31	25

〈経営系〉（4コース）

（単位：人）

講座名	期間(時間数)	R 4	R 3	R 2	R 元
中堅・若手社員のコスト意識の育成講座	6/14～6/28(9時間)	23	23	19	20
営業力強化セミナー	6/23～6/28(6時間)	7	9	10	11
事務職のための業務改善研修	7/8～7/22(6時間)	13	16	6	12
合 計		43	48	35	43

② 経営力強化のための個別相談事業

③ センター事業の広報活動

- 1) 広報誌「リサーチコアレポート」の発行(年2回)
- 2) ビジネス情報の提供(49件)
 - メールマガジンの発行
 - ・ 毎月1回(年間12回)配信
 - ・ 掲載情報件数：91件
 - ・ 3月末メルマガ配信登録者数：539件

④ 地場産センターホームページ、フリースポットの管理・運営

- 地場産ホームページを適時更新し、館内フリースポットの安定稼働に努めた。
- ・ センターホームページの月平均閲覧数：30,313件/月(R3：29,345件/月)

⑤ 情報関連機器の維持管理、情報研修室の利用促進

- 館内通信ネットワークを安定的に運用するため、各種サーバーや通信環境のメンテナンス、データのバックアップを行った。
- ・ 情報研修室OA機器、研修用DVD等の貸出

貸出機器名	貸出件数	利用料金	備 考
パソコン・プロジェクター	74件 (45件)	1,188,949円 (651,762円)	情報研修室内の貸出用PC他
研修用DVD等	5本 (36本)	無料	

【5】海外販路支援事業

1 収支決算額

- 収入決算額：30,057,040円
(事業収入：3,976,000円、市負担金収入：26,081,040円)
- 支出決算額：29,111,040円

2 事業の成果

◆ **海外販路支援事業**：販路開拓では、アメリカおよびドイツのBtoB展示商談会に出展、2年ぶりに企業と共に渡航し成果を上げた。また、アメリカでBtoCテスト販売、カナダバイヤーの招聘によるビジネスマッチングを行った。中国では成長率が高い内陸部にて特別商談会を開催した。インバウンド誘客では、新潟県と連携しシンガポールでの現地プロモーション及びインフルエンサーの招聘を行い、インバウンド再開後の来訪先としてPRした。セミナーでは、貿易を始めたばかりの企業が、共通して持つ課題について学ぶ講座を多く開催し、企業内人材のスキルアップの機会を提供した。

3 実施事業

(1) 海外販路支援事業

(収入決算額：30,057,040円、支出決算額：29,111,040円)

① 燕三条製品の海外販路開拓支援

当初計画していた、米国での現地商談会開催による販路開拓は、渡航状況が不確定だったため中止し、代替事業としてハイブリッド開催の展示会に出展した。また、中国で出展を予定していた展示会の開催が、翌年に延期になったため特別商談会を実施した。

1) 米国展示会 SHOPPE OBJECT 2022 出展(代替事業)

- ・ 名称：SHOPPE OBJECT 2022 SUMMER
- ・ 会期：令和4年8月14日～8月16日(リアル展)
令和4年8月1日～令和5年1月31日(オンライン展)
- ・ 会場：PIER36(299South street New York, NY10002)
- ・ 出展企業数：8社
- ・ コンタクト：496件
- ・ 成約見込額：159件 約1,483万円

2) 中国内陸市場「特別商談会」開催(代替事業)

- ・ 名称：2022 重慶VIP会
- ・ 会期：令和4年12月23日～12月24日(リアル展、オンライン商談)
- ・ 会場：重慶市渝中区枇杷山正街NO.72
- ・ 出展企業数：5社
- ・ コンタクト：32件
- ・ 成約見込額：11件 約215万円

3) 米国ニューヨークテスト販売

- ・ 会場：JAPAN VILLAGE(934 3rd Ave, Brooklyn, NY 11232)
※ニューヨーク市ブルックリンに位置する日系スーパー

- ・ 実施日：令和4年12月1日～12月31日
 - ・ 応募企業数：15社(うちマッチングした11社にてテスト販売を実施)
 - ・ 売上点数/金額：59点(約30万円)※継続取扱い4社
- 4) 欧州展示会 Ambiente2023 出展
- ・ 名称：Ambiente 2023
 - ・ 会期：令和5年2月3日(金)～7日(火)
 - ・ 会場：ドイツ・フランクフルト国際見本市会場(フランクフルト)
 - ・ 出展企業数：17社
 - ・ コンタクト件数：約341件
 - ・ 成約見込額：114件 約1,210万円
- 5) カナダバイヤー招聘 (JETRO 新潟連携事業)
- ・ 招聘バイヤー：IPPINKA INC.、ITSUMO HOME INC.
 - ・ 招聘日：令和4年10月18日(火)～19日(水)(IPPINKA INC.)
令和5年3月1日(水)～3日(金)(ITSUMO HOME INC.)
 - ・ 参加企業数：15社
 - ・ 成約見込額：32件 約239万円

② インバウンドプロモーション事業

1) 新潟県・新潟市連携シンガポールインバウンドセールス

ア) 観光プロモーションイベント開催

- ・ 開催日：令和4年11月28日(月)
- ・ 会場：シンガポール富寿司 Novena 店
- ・ 内容：新潟県と関わりの深いシンガポールの飲食店で、現地消費者向けに燕三条地域の観光プレゼンテーションを実施
- ・ 来場者：53人

イ) インフルエンサー招聘

- ・ 実施日：令和4年11月7日(月)～9日(水)
- ・ 立寄り先：燕三条地域7件(全体16件)
- ・ Instagram 発信：燕三条地域24件(全体40件)

ウ) インバウンド誘客パンフレット制作

シンガポールのインフルエンサーを素材としてパンフレットを作成し、現地イベントにて配布した。

2) 海外旅行社アポイントメント商談会への参加

- ・ 名称：VISIT JAPAN Travel & MICE Mart 2022
- ・ 会期：令和4年9月22日(木)～24日(土)
- ・ 会場：東京ビッグサイト(東京都江東区有明3丁目1-1)
- ・ 商談数：18社/14カ国(リアル6社/オンライン12社)

3) シンガポール旅行社への現地セールス

- ・ 日時：令和4年11月29日(火)
- ・ 訪問先：シンガポール市内旅行社4社

4) ツアー立寄り実績

- ・ 件数：14件(米国8件/25人、シンガポール5件/31人、台湾1件/18人)
- ・ 地域内消費額：130万円

5) 視察・招聘等への対応

- ・ 件数：旅行社 11 件/その他 14 件(計 65 人) 地域内消費額：156 万円

6) SNS による燕三条地域の情報発信

- ・ インスタグラムによる情報配信

「Discover Tsubamesanjo」アカウントで継続的に地域の情報を発信した。

年度	投稿数	閲覧数	反応数	登録者数
R 4	162 件	25,516 件	5,108 件	1,475 人
R 3	159 件			1,223 人
R 2	115 件			759 人

- ・ JNTO を通じた情報発信

○ 内 容：JNTO 会員向けエントリーページからの情報発信

○ 掲載数(採択数)：7 件(インドネシア、中東、中国、豪)

年 度	R 4	R 3	R 2	R 元
掲載数	7 件	15 件	6 件	3 件

③ 海外展開に関する相談対応

地域企業や海外バイヤーからの総合相談の窓口として、JETRO等の他支援機関と連携し対応を行った。

年 度	R 4	R 3	R 2	R 元
相談件数	101件(56社)	70件(43社)	24件(23社)	9 件(6 社)

④ 海外展開に関するセミナー

1) 海外進出に向けた「知財・法務」のリスクマネジメント

- ・ 開催日：令和4年7月5日(火)
- ・ 講 師：ひめさゆり法律事務所 代表 石川佳代 氏
ジーベック国際特許事務所 小松悠有子 氏
- ・ 参加者：12 人(9 社)

2) やさしい貿易実務の基礎知識

- ・ 開催日：令和4年7月6日(水)
- ・ 講 師：中矢一虎法務事務所 代表 中矢 一虎 氏
- ・ 参加者：21 人(19 社)

3) 「一歩踏み出す！輸出商談の事前準備講座」

- ・ 開催日：令和4年7月28日(木)
- ・ 講 師：(株)KM International Trading and Consulting
代表取締役 中 正宏 氏
- ・ 参加者：9 人(8 社)

4) 英文契約書・入門

- ・ 開催日：令和4年8月16日(火)
- ・ 講 師：中矢一虎法務事務所 代表 中矢 一虎 氏
- ・ 参加者：9 人(8 社)

5) 英文ビジネスメール・基礎編

- ・ 開催日：令和4年10月27日(木)
- ・ 講 師：みね事務所 代表/中矢一虎法務事務所 峯 愛 氏

- ・ 参加者：13人(11社)
- 6) 海外輸出における「リスク管理、貿易保険」
 - ・ 開催日：令和4年12月14日(水)
 - ・ 講師：トレード・コンシェルジェ Street Smart 代表 法嶋 由昭 氏
 - ・ 参加者：14人(13社)
- 7) 貿易実務の盲点とクレームへの賢い対処法(応用編)
 - ・ 開催日：令和4年12月12日(月)
 - ・ 講師：中矢一虎法務事務所 代表 中矢 一虎 氏
 - ・ 参加者：12人(9社)
- 8) 英文契約書の基礎
 - ・ 開催日：令和4年12月13日(火)
 - ・ 講師：中矢一虎法務事務所 代表 中矢 一虎 氏
 - ・ 参加者：12人(9社)
- 9) 海外展開レベルアップ研修
 - ・ 開催日：令和4年12月20日(火)
 - ・ 講師：(株)ワールド・ビジネス・アソシエイツ 三好 康司 氏
 - ・ 参加者：6人(5社)
- 10) 「欧州・米国・中国」 海外展示会 出展報告会
 - ・ 開催日：令和5年3月13日(月)
 - ・ 講師：LITAARTISAN合同会社 長江 一彌氏・shout合同会社 李 季 氏
 - ・ 参加者：20人(15社)
- 11) 「国際輸送・電子決済・EPA」
 - ・ 開催日：令和5年3月17日(金)
 - ・ 講師：中越運送株式会社/PayPal/新潟税関支署
 - ・ 参加者：17人(15社)

年 度	R 4	R 3	R 2	R 元
開 催 数	11件	8件	7件	9件
参加者数	145人(121社)	180人(144社)	133人(111社)	249人(199社)

⑤ 海外展開に関する情報提供

メールマガジンによる情報発信：海外展開メールマガジン「万里一空」

年 度	R 4	R 3	R 2
配信回数	17回	20回	21回
登録者数	154人	144人	133人

【6】 需要開拓事業

1 収支決算額

○収入決算額：469,589,736円

○支出決算額：360,215,837円

2 事業の成果

- ◆ **展示・即売事業**：より多くの方が利用しやすい店舗を目指し、物産館内の段差解消や通路間隔を見直す等バリアフリー化を行うとともに、電子決済比率の高まりにより会計周辺機器システムを更新し、来館者の利便性向上を図った。またLINEを含むSNSを通じ地場産業に関連する実演や体験等の情報発信に努め、各種イベントを定期的で開催し県内外からの集客を図りながら、地域企業の出展による新商品等のモニタリングの場としても活用することができた。
- ◆ **燕三条駅観光物産センター事業**：JR 燕三条駅コンコースに設置している展示ケースをリニューアルした結果、地場産業製品をより効果的にPRすることができた。また駅の乗降客もコロナ前に戻りつつある中、SNSを積極的に活用し地場産業に関連するイベントや話題性のある商品の情報発信を行い集客に努めた。

3 実施事業

(1) 展示・即売事業

(収入決算額：405,258,252円、支出決算額：303,239,705円)

① 収入実績

年度	販売売上収入	外商販売収入	展示出品収入	合計
R4	389,153,160円	8,930,305円	6,880,999円	404,964,464円
R3	303,261,812円	8,201,158円	6,851,400円	318,314,370円
R2	272,267,514円	17,138,121円	6,670,600円	296,076,235円
R元	395,892,241円	10,682,048円	6,480,600円	413,054,889円

② イベント等の実績

イベント名称	開催期間	来場者数
GWフェア	4/29～5/8：10日間	約20,647人
	(R3：4/29～5/5 7日間)	(約11,316人)
	(R2：中止)	—
	(R元：4/27～5/6 10日間)	(約29,724人)
お盆フェア	8/11～16：6日間	約12,145人
	(R3：8/12～16 5日間)	(約7,291人)
	(R2：8/13～16 4日間)	(約4,769人)
	(R元：8/14～18 5日間)	(約12,104人)
じばさん感謝祭 ※R元は年末フェア	12/2～4：3日間	約16,225人
	(R3：12/3～5 3日間)	(約19,689人)
	(R2：12/4～6 3日間)	(約12,533人)
	(R元：11/30～12/1 2日間)	(約10,691人)

③ 来館者数及び外国人実績

年度	来館者数	外国人 来館者数	購入金額	免税件数	免税購入金額
R 4	254,659 人	1,072 人	9,668,393 円	341 件	8,760,382 円
R 3	205,641 人	108 人	621,122 円	7 件	172,767 円
R 2	176,871 人	169 人	754,909 円	5 件	207,184 円
R 元	276,492 人	2,769 人	13,989,790 円	683 件	13,191,548 円

④ その他実績

年度	観光バス来館	レンタカー利用
R 4	395 台	317 人
R 3	181 台	142 人
R 2	164 台	136 人
R 元	1,072 台	217 人

(2) 燕三条駅観光物産センター事業

(収入決算額：64,331,484 円、支出決算額：56,976,132 円)

① 収入実績

年度	販売売上収入	外商販売収入	展示出品収入	合 計
R 4	61,801,570 円	173,140 円	2,454,160 円	64,428,870 円
R 3	35,095,626 円	229,028 円	2,545,700 円	37,870,354 円
R 2	31,681,622 円	339,368 円	2,560,440 円	34,581,430 円
R 元	66,585,485 円	1,834,206 円	2,508,000 円	70,927,691 円

② イベント等の実績

イベント名称	開催期間	来場者数
GWフェア	4/29～5/5 7日間	約2,456人
	(R3:5/1～5/5 5日間)	(約559人)
	(R2:中止)	—
	(R元:5/2～5/6 5日間)	(約2,050人)
お盆フェア	8/13～16:4日間	約737人
	(R3:8/13～8/16 4日間)	(約415人)
	(R2:8/12～16 5日間)	(約434人)
	(R元:8/11～15 5日間)	(約2,206人)

③ 来館者数及び外国人実績

年度	来館者数	外国人 来館者数	購入金額	免税件数	免税購入金額
R 4	48,583 人	393 人	4,293,251 円	176 件	3,962,847 円
R 3	30,401 人	30 人	136,760 円	1 件	11,037 円
R 2	28,648 人	43 人	114,071 円	8 件	33,691 円
R 元	74,781 人	1,080 人	4,712,535 円	282 件	4,165,229 円

【7】 収益事業

1 収支決算額

○収入決算額：117,176,841円

(県補助金収入：4,000,000円、事業収入：113,176,841円)

○支出決算額：50,704,006円

2 事業の成果

- ◆ **他地域連携販売事業**: 他地域の地場産センターや道の駅と連携したイベントを開催し、地域内外から集客を図り県内特産品の販売も併せて行うことで、観光施設のイメージアップと燕三条製品の集約的なPRを行った。また地域間交流の一環として、各観光協会や関係する団体との連携事業を実施した。
- ◆ **貸館事業**: イベントや展示会等での会場利用が回復する中、ワクチン接種等での会場利用に対し円滑な運営ができるよう実施者と連携し、貸館利用者との調整を行いながら効率的な貸館事業の運営を図った。
- ◆ **レストラン運営事業**: センター主催イベントや施設PR時などにレストラン情報も発信し、Bitの運営サポートを行うとともに、利用者ニーズに合わせお弁当メニューを変更するなど、より良いサービスの向上に努めた。

3 実施事業

(1) 他地域連携販売事業

(収入決算額：36,922,756円、支出決算額：28,953,691円)

年度	地域外取扱商品販売金額	他地場産センター商品販売金額
R4	30,077,031円	1,428,835円
R3	16,990,604円	1,950,983円
R2	12,239,387円	1,585,858円
R元	33,837,398円	1,718,370円

(2) 貸館事業

(収入決算額：69,147,064円、支出決算額：14,724,602円)

【会場利用状況】

施設名	R4	R3	R2	R元
メッセピア計	49,219,871円	46,714,836円	20,219,725円	40,758,605円
1F：多目的大ホール	28,836,370円	28,819,005円	7,199,364円	23,100,640円
3F：中会議室	1,821,500円	1,684,054円	1,357,276円	2,046,749円
4F：大会議室	6,387,894円	5,275,205円	3,884,480円	4,274,680円
特別会議室	656,273円	719,820円	145,181円	395,881円
小会議室(和室)	898,545円	1,016,780円	633,117円	935,798円
5F：総合研修室	9,410,746円	7,877,950円	5,988,342円	8,386,718円
ミーティングルーム	1,208,543円	1,322,022円	1,011,965円	1,618,139円

施設名	R 4	R 3	R 2	R 元
リサーチコア計	19,617,603 円	15,431,028 円	11,762,147 円	15,226,160 円
6 F : 研修室	11,087,179 円	8,581,944 円	7,126,875 円	9,393,016 円
7 F : マルチメディアホール	8,530,424 円	6,849,084 円	4,635,272 円	5,833,144 円
合計	68,837,474 円	62,145,864 円	31,981,872 円	55,984,765 円
施設利用者数	156,366 人	166,295 人	99,127 人	149,757 人

(3) レストラン運営事業

(収入決算額 : 14,287,418 円、支出決算額 : 10,206,110 円)

燕三条 Bit 実績

【売上実績】

年度	売上金額	時間帯	内訳	割合	営業手数料
R 4	172,943,546 円	ランチ	77,284,755 円	44.7%	6,073,588 円
		ディナー	95,658,791 円	55.3%	
R 3	140,581,726 円	ランチ	64,506,433 円	45.9%	5,264,543 円
		ディナー	76,075,293 円	54.1%	
R 2	135,608,711 円	ランチ	62,214,724 円	45.9%	5,140,218 円
		ディナー	73,393,987 円	54.1%	
R 元	185,752,269 円	ランチ	69,745,099 円	37.5%	6,393,806 円
		ディナー	116,007,170 円	62.5%	

【来客実績】

年度	客数	時間帯	内訳	割合	客単価
R 4	42,047 人	ランチ	29,137 人	69.3%	2,652 円
		ディナー	12,910 人	30.7%	7,409 円
R 3	34,915 人	ランチ	24,241 人	69.4%	2,661 円
		ディナー	10,674 人	30.6%	7,127 円
R 2	37,056 人	ランチ	25,467 人	68.7%	2,442 円
		ディナー	11,589 人	31.3%	6,333 円
R 元	51,972 人	ランチ	32,404 人	62.3%	2,152 円
		ディナー	19,568 人	37.7%	5,928 円

附属明細書

令和4年度事業報告には「一般財団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」に規定する附属明細書「事業報告書内容を補足する重要な事項」に該当の事実はありません。